

政策番号	27	政策分野	くらしの水
------	----	------	-------

基本方針 市民のライフライン（生活線）として重要な水道・下水道は、河川とともに、都市の基盤施設であると同時に琵琶湖・淀川水系における水循環の一翼を担い、流域全体の水環境の保全に大きな役割を果たしている。安全・安心で良質な水道水を安定的に供給する水道、大雨による浸水被害からまちを守るとともに快適で衛生的な都市生活を支える下水道、治水対策を推進し、あわせて都市に親水空間を生み出す河川について、“くらしの水”に関する機能の充実・向上を図りながら、未来の京都に引き継いでいく。

担当局	上下水道局	共管局	建設局
-----	-------	-----	-----

政策の評価

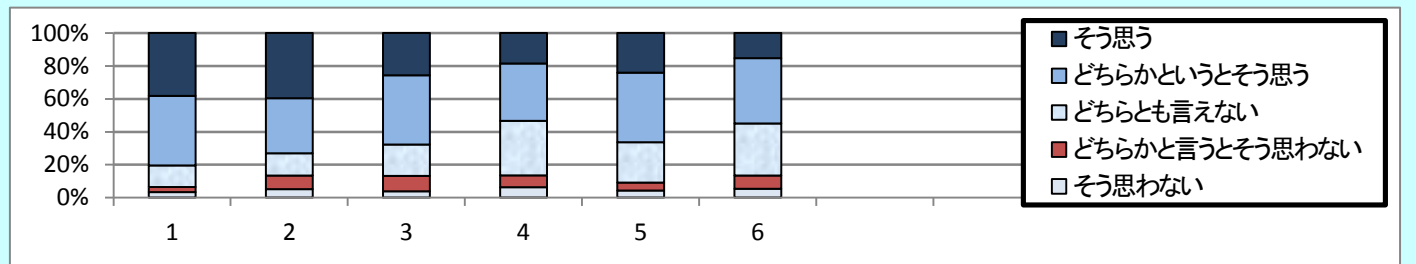
1 客観指標評価

指標名	23年度 評価値	32年度 目標値	23 年度	24 年度	25年度評価				
					前回値	最新値	目標値	達成度	評価
1 主要管路の耐震適合性管の割合(%)	39.8	—	a	b	40.8	42.2	42.0	100.5%	a
2 雨水整備率(10年確率降雨対応)(%)	17.4	—	d	a	19.3	19.5	19.5	100.0%	a
3 高度処理人口普及率(下水道)(%)	47.9	—	a	a	48.0	48.0	48.0	100.0%	a
4 平成16年記録的豪雨時の河川浸水被害箇所解消率(%)	87.6	100	a	a	87.7	87.9	87.9	100.0%	a
5 水共生の取組の進捗率(レーダーチャート面積※)(%)	91.8	100	a	a	109.4	114.3	100	114.3%	a
6 カビ臭から見たおいしい水達成率(%)	65	—	-	-	80	65	50	130.0%	a
7 目標水質達成率(BOD)(%)	98.7	97.7	-	-	98.7%	99.2%	97.7	101.5%	a
客観指標総合評価				a	a				a

※施策2707「水共生の取組」の5つの客観指標の進捗率をレーダーチャートに変換し、目標進捗率に対する面積比で算出

2-1 市民生活実感評価

番号	設問	評価		
		23年度	24年度	25年度
1	京都の上下水道は、安全で安心していつでも利用できる。	a	a	a
2	大雨が降っても、身近な地域で浸水の被害は起こっていない。	a	a	a
3	京都の河川は水がきれい、水辺に親しみやすい。	b	b	b
4	水道水がおいしくなるなど、京都の上下水道サービスは向上している。	b	b	b
5	京都の上下水道は、経営が安定しており、将来も安心して使い続けることができる。	b	b	b
6	水や水辺環境が大切にされるなど、水と共に生きる意識が高まっている。	b	b	b
7	-	-	-	-
8	-	-	-	-
市民生活実感調査総合評価		a	a	a



2-2 政策の重要度(27政策における市民の重要度)

23年度		24年度		25年度	
順位	%	順位	%	順位	%
10	21.2%	11	19.3%	2	93.0%

3 総合評価

A	政策の目的が十分に達成されている		
	<p>【客観指標】・耐震適合性管の割合は、前年度から増加し、目標値を上回り、a評価となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10年確率降雨(10年に一度の大雨)に対応した雨水整備率は、雨に強いまちづくりを推進した結果、目標どおり進捗し、前年度に引き続きa評価となった。 ・下水道の高度処理人口普及率及び平成16年の記録的豪雨時の河川浸水被害箇所の解消率は、目標どおり進捗し、前年度に引き続きa評価となった。 ・水共生の取組の進捗率は水共生学習会を実施するなど、市民への周知を図った結果、目標値を上回り、前年度に引き続きa評価となった。 ・新たに指標として設定した、水環境保全センターからの放流水に係る目標水質達成率については、目標値を上回り、a評価となった。また、カビ臭から見たおいしい水達成率についても、水質基準値よりも厳しい管理目標値以内を達成し、a評価となった。 <p>【市民の実感】・市民の実感については、全体として昨年と同様の評価となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上下水道の安全性と大雨時の浸水対策について、高く評価されているほか、水辺の親しみやすさをはじめ、その他の設問もかなり肯定的に評価されている。 <p>【総括】・取組が概ね目標どおり進捗し、市民の実感でも高く評価されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度に起こった洛西地域での水道の配水管の破損事故に対しては、今年度に腐食対策を完了させることをめざし、取組を進めてきており、老朽化した下水道管路の改築更新等についても重点的に取り組んでいる。 ・こうしたことを総合的に勘案し、この政策の目的は、十分に達成されていると評価する。 	24年度	A
		23年度	B

今後の方向性の検討

<この政策を構成する施策とその総合評価>

施策番号	施策名	評価結果			参照ページ
		23	24	25	
2701	安全・安心な水道・下水道の構築	B	B	B	277
2702	環境負荷の少ない水道・下水道の構築	B	A	A	279
2703	水道・下水道の機能維持・向上	B	B	B	281
2704	市民ニーズに対応した上下水道サービスの推進	B	B	B	283
2705	上下水道事業の経営基盤の強化・安定	A	A	B	285
2706	水辺環境の整備	A	A	A	287
2707	水共生の取組の推進	B	B	B	289

<今後の方向性>

・ひと まち くらしを支える京の水をあすへつなぐため、平成25年度からは、新たな「中期経営プラン(2013-2017)」に基づき、改築更新の推進、災害対策の強化、お客様満足度の向上など、市民のくらしを支える安全・安心な上下水道の整備、持続可能な上下水道サービスの提供に向けた経営基盤の強化を進める。

・水に関する市民意識が高いまちを目指し、「私たちの手でみずみずしい都市とくらしの再生を！」を基本理念として、流域全体を見据えた治水対策、良好な水環境の実現、健全な水循環系の回復、豊かな水文化の創造、雨水の利用等に取り組む。

政策名	27	くらしの水
-----	----	-------

指標名	主要管路の耐震適合性管の割合 (%)
-----	--------------------

担当部室	水道部	連絡先	672-7743
------	-----	-----	----------

1 指標の説明

主要管路（導水管，送水管及び配水管（φ200mm以上））の総延長に対する耐震適合性管の延長の割合

2 指標の意味

安全・安心な水を安定供給するための水道主要管路の耐震化状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：耐震適合性管路延長÷主要管路総延長×100
出典：局独自に設定（事業担当課調べ）

4 数値

10年後の（平成32年度）目標値	平成23年度評価値 39.8	平成32年度目標値 —	根拠
------------------	-------------------	----------------	----

	前回数値	最新数値	推移	単年度目標値		
	23年度	24年度		数値	根拠	達成度
数値	40.8	42.2	1.4ポイント増	42.0	上下水道局運営方針・事業推進方針	100.5%

	全国順位	中長期目標			根拠
		数値	目標年次	達成度	
数値		42.4	24年度	99.5%	京都市上下水道事業 中期経営プラン (2008-2012)

備考	
----	--

5 評価基準

最新数値と目標値を比較して
a：目標値以上
b：目標値未満で改善度80%以上100%未満
c：目標値未満で改善度50%以上80%未満
d：目標値未満で改善度50%未満
e：現状維持

6 基準説明

目標値を上回る可能性もあるため、目標値以上を最高のaとし、目標値に達しなくても改善度によりそれぞれb, c, dに、現状維持であればeと設定した。
※改善度 = (最新数値 - 前回数値) / (目標値 - 前回数値) × 100

7 評価結果

23	24	25
a	b	a

指標名	雨水整備率（10年確率降雨対応） (%)
-----	----------------------

担当部室	下水道部	連絡先	672-7839
------	------	-----	----------

1 指標の説明

事業認可区域面積に対する10年確率降雨対応浸水対策済区域面積の割合（大雨でも浸水がなく，安心して暮らせるまちにするため，10年確率降雨（62mm/時）に対応した浸水対策を進めている。）

2 指標の意味

大雨による浸水被害からまちを守る下水道事業（浸水対策）の進捗状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：浸水対策済区域面積÷公共下水道事業認可区域面積×100

4 数値

10年後の（平成32年度）目標値	平成23年度評価値 17.4	平成32年度目標値 —	根拠
------------------	-------------------	----------------	----

	前回数値	最新数値	推移	単年度目標値		
	23年度	24年度		数値	根拠	達成度
数値	19.3	19.5	0.2ポイント増	19.5	上下水道局運営方針・事業推進方針	100.0%

	全国順位	中長期目標			根拠
		数値	目標年次	達成度	
数値		25.6	24年度	76.2%	京都市上下水道事業 中期経営プラン (2008-2012)

備考	
----	--

5 評価基準

最新数値と目標値を比較して
a：目標値以上
b：目標値未満で改善度80%以上100%未満
c：目標値未満で改善度50%以上80%未満
d：目標値未満で改善度50%未満
e：現状維持

6 基準説明

目標値を上回る可能性もあるため、目標値以上を最高のaとし、目標値に達しなくても改善度によりそれぞれb, c, dに、現状維持であればeと設定した。
※改善度 = (最新数値 - 前回数値) / (目標値 - 前回数値) × 100

7 評価結果

23	24	25
d	a	a

政策名	27	くらしの水
-----	----	-------

指標名	高度処理人口普及率(下水道) (%)
-----	--------------------

担当部室	下水道部	連絡先	672-7839
------	------	-----	----------

1 指標の説明

下水の高度処理の普及割合（京都市では、市内河川だけでなく、阪神圏の水道水源である淀川や閉鎖性水域である大阪湾の水質保全のため、通常の下水処理では除去しにくい窒素やりんの除去を目的とした高度処理を行っている。）

2 指標の意味

流域全体の水環境を保全する下水道事業(高度処理)の進捗状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：高度処理実施区域内人口÷高度処理が必要な区域の人口×100

4 数値

10年後の(平成32年度)目標値	平成23年度評価値 47.9	平成32年度目標値 -	根拠
------------------	-------------------	----------------	----

	前回数値	最新数値	推移	単年度目標値		
	23年度	24年度		数値	根拠	達成度
数値	48.0	48.0	増減なし	48.0	上下水道局運営方針・事業推進方針	100.0%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値		48.3	24年度	99.4%	京都市上下水道事業 中期経営プラン(2008-2012)

5 評価基準

最新数値と目標値を比較して
a: 目標値以上
b: 目標値未満で改善度80%以上100%未満
c: 目標値未満で改善度50%以上80%未満
d: 目標値未満で改善度50%未満
e: 現状維持

6 基準説明

目標値を上回る可能性もあるため、目標値以上を最高のaとし、目標値に達しなくても改善度によりそれぞれb, c, dに、現状維持であればeと設定した。
※改善度 = (最新数値-前回数値) / (目標値-前回数値) × 100

7 評価結果

23	24	25
a	a	a

指標名	平成16年記録的豪雨時の河川浸水被害箇所解消率 (%)
-----	-----------------------------

担当部室	水と緑環境部	連絡先	222-3591
------	--------	-----	----------

1 指標の説明

平成16年の記録的豪雨の際に河川からの溢水による浸水被害があった河川の改修実施率

2 指標の意味

浸水被害の低減に向けた河川の整備状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：H16浸水被害河川整備延長÷H16浸水被害河川計画延長×100
出典：事業担当課調べ

4 数値

10年後の(平成32年度)目標値	平成23年度評価値 87.6	平成32年度目標値 100	根拠 100%の達成を目指す。
------------------	-------------------	------------------	--------------------

	前回数値	最新数値	推移	単年度目標値		
	23年度	24年度		数値	根拠	達成度
数値	87.7	87.9	0.2ポイント増	87.9	平成16年度浸水被害発生河川における当該年度の目標改修率	100.0%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値		88.3	26年度	99.5%	平成16年度浸水被害発生河川における中長期目標年度の目標改修率

5 評価基準

最新値をx, (単年度目標値-前回値)をyとしたとき,
a: 単年度目標値 ≤ x
b: 前回値+y*2/3 ≤ x < 単年度目標値
c: 前回値+y*1/3 ≤ x < 前回値+y*2/3
d: 前回値 < x < 前回値+y*1/3
e: x=前回値

6 基準説明

目標値を達成することは不可能ではないが、財政状況の寄与度が高いことから、単年度目標値以上の達成をaとし、5段階に基準を設定した。

23	24	25
a	a	a

政策名	27	くらしの水
指標名	水共生の取組の進捗率（レーダーチャート面積）（%）	
担当部室	水と緑環境部	連絡先 222-3591
1 指標の説明 水に関する取組の進捗の、目標進捗率		
2 指標の意味 水共生の取組の進捗状況を示す指標		3 算出方法・出典等 算出方法：施策「水共生の取組」の5つの客観指標の進捗率をレーダーチャートに変換し、目標進捗率に対する面積比で算出
4 数値		
10年後の（平成32年度）目標値	平成23年度評価値 91.8	平成32年度目標値 100 根拠 100%の達成を目指す。
	前回数値 23年度 109.4	最新数値 24年度 114.3
	推移 4.9ポイント増	単年度目標値 数値 100 根拠 各指標の当該年度の目標進捗率をレーダーチャートに変換したときの面積
	達成度 114.3%	
	全国順位	中長期目標
	数値	目標年次
	達成度	根拠
数値		
5 評価基準 最新数値の目標値に対する達成度が a：85%以上 b：65%以上～85%未満 c：45%以上～65%未満 d：25%以上～45%未満 e：25%未満		6 基準説明 目標値を達成することは不可能ではないが、財政状況の寄与度が高いことから、85%以上の達成をaとし、20%刻みで等間隔に基準を設定した。
		7 評価結果
		23 24 25
		a a a

指標名	カビ臭から見たおいしい水達成率（%）	
担当部室	技術監理室	連絡先 771-5380
1 指標の説明 水道水におけるカビ臭原因物質（※）の年間最大濃度（実績値）の水道水質基準値（10ng/L）に対する適合割合 ※ジェオスミン及び2-メチルイソボルネオール		
2 指標の意味 水道水のおいしさを示す1つの指標で、高い方がよい。		3 算出方法・出典等 算出方法： $[(1-\text{ジェオスミン最大濃度}/\text{水質基準値})+(1-2-\text{メチルイソボルネオール最大濃度}/\text{水質基準値})]/2 \times 100$ 出典：水道事業ガイドライン
4 数値		
10年後の（平成32年度）目標値	平成23年度評価値 65	平成32年度目標値 - 根拠
	前回数値 23年度 80	最新数値 24年度 65
	推移 15ポイント減	単年度目標値 数値 50 根拠 水安全計画の管理目標値（5ng/L）による算出値（50%）を基に設定
	達成度 130.0%	
	全国順位	中長期目標
	数値	目標年次
	達成度	根拠
数値		
5 評価基準 最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：75%以上100%未満 c：50%以上75%未満 d：25%以上50%未満 e：25%未満		6 基準説明 達成度100%をa評価とし、以下25%刻みに基準を設定した。
		7 評価結果
		23 24 25
		- - a

政策名	27	くらしの水
-----	----	-------

指標名	目標水質達成率（BOD）（%）
-----	-----------------

担当部室	技術監理室	連絡先	691-8545
------	-------	-----	----------

1 指標の説明

1年間に実施した水質調査において、BOD（※）における目標水質を達成した比率
 ※微生物が水中の有機物を分解するときに消費する酸素の量（生物化学的酸素要求量）。有機物等による水質汚濁の指標として用いられ、この値が大きいほど水の汚れが進んでいることを意味する。

2 指標の意味

河川的环境基準の主要項目であるBODについて、水環境保全センターからの放流水の状態を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：目標(水質達成回数/水質調査回数)×100(%)
 出典：下水道維持管理サービス向上のためのガイドライン

4 数値

10年後の(平成32年度)目標値	平成23年度評価値	平成32年度目標値	根拠
	98.7	97.7	下水道維持管理サービス向上のためのガイドライン

	前回数値	最新数値	推移	単年度目標値		達成度
	23年度	24年度		数値	根拠	
数値	98.7%	99.2%	0.5ポイント増	97.7	下水道維持管理サービス向上のためのガイドライン	101.5%

数値	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	

5 評価基準

最新数値と目標値を比較して、
 a：目標値(97.7%)以上
 b：90%以上目標値未満
 c：85%以上90%未満
 d：80%以上85%未満
 e：80%未満

6 基準説明

目標値を上回る可能性もあることから、目標値以上を最高のaとし、以下5段階に基準を設定した

7 評価結果

23	24	25
-	-	a